

令和6年度 高松プライドプロジェクトを 開催しました

8月21日（水）に、高松市総合教育センターを会場に、高松市立小学校24校から、44名の代表児童が集まり、開催しました。

高松プライドプロジェクトは、小学校の代表児童が、自分の学校や地域、高松市のよさを発表し、それらをよりよくするための具体的な取組についての意見交換や情報交換を行うもので、地域や郷土への関心を高め、子どもたちのシビックプライドを育むことを目的にしており、今年度は、『「高松のよさをみつけ、高松の未来のために自分たちに何ができるかを考えよう」～自分の地域のよさを伝え合い、高松のよさを再確認し、発信しよう～』を全体テーマとしました。

当日は、児童が5つのグループに分かれ、準備した成果物や写真などを使って、自分の地域のよさや魅力を、それぞれの「まちの観光大使」となって発表し合いました。テーマに沿って、これから大切にしていきたいこと、自分たちに何ができるかなどについて、熱心に議論し、各グループからのメッセージとして「PR動画」を完成させました。その後、全体会において、各グループが完成させたPR動画を、参加者全員で見ました。全体会では、それぞれの「PR動画」に対して、会場にいたたくさんの参加者から拍手が送られ、温かな雰囲気の中で包まれました。

参加児童から、「伝統文化は伝統だから受け継ぐのではなく、魅力的で面白いから受け継ぐのだと強く実感した。」「たくさん自慢できることがあって、高松は本当に良いところだと思った。」「知らないことがたくさんあったので楽しかったし、自分でも調べてみたいと思った。」などの感想が寄せられ、参加児童は、それぞれの地域のよさや魅力を再確認するとともに、他校の児童と話し合うことで、視野が広がり、良い刺激を受けることができたようです。

「PR動画」は、市内全小・中学校及び高松第一高等学校に対して発信し、各校の取組の参考にしてもらうとともに、「PR動画」をたくさんの人に見てもらいたいという参加児童の思いも受け、高松ムービーチャンネル等に掲載しています。



グループ内の発表



協力してPR動画を
作成



全体会でPR動画を
視聴